

会社訪問・研修委員会 10月例会 後継者の経営者の覚悟 ～認識と理解を深める～

10月14日 於 京都府産業支援センター5F

株式会社 PROTEC 深水 健太郎

会社訪問・研修委員会では「経営者の覚悟を知る」という委員会テーマのもと、「後継者の“経営者の覚悟”への理解と認識を深める」と題し、後継者に“経営者の覚悟”がどういったものか、何なのかを少しでも知るきっかけとなる例会を開催いたしました。例会には、26名の会員様にご参加いただきました。

1部では、今回新たな試みとして、後継者がただ話を聞くだけではなく、後継者が考える“経営者の覚悟”の考え方を発表してもらい形としました。

3つの小グループに分け、それぞれのグループに先輩を1人、発表者を2人となるようにし、発表内容に対してグループ内で50分間ディスカッションをしていただきました。

特にディスカッションの中では先輩より後継者の時、社長になられた時の状況や経緯・変化について話を伺い、特に覚悟については【想いはあるが、その想いを形にする事が難しく、できていない】、【面倒・しんどい事こそ逃げずにやる】という言葉がありました。後継者の考える覚悟の足りない部分に気づききっかけとなり、参加者からは先輩への質問の時間が足りないくらい多く挙がり、有意義な時間となりました。

2部では、各グループでのディスカッション内容を、あらかじめ決めていた方にそれぞれ発表してもらい、他グループでの情報を共有していただきました。長らくリアル開催する機会がありませんでしたので、実際にお会いして話を聞く事で改めて1つ1つの言葉の重要性や伝わり方が違ったかと思えます。

コロナ禍ではありましたが、後継者の想いが直に聞け、また先輩方や会員様より多様な視点でディスカッションができたと感じています。今回後継者がターゲットの例会内容ではありましたが、後継者に限らずそれぞれの立場の方々も刺激を受け、気づきを得られた有意義な例会になったのではと思います。

終盤での先輩からの感想で、機青連に何かを求めて入り、また今回の例会に自らの意思で出席していること自体も覚悟であり、いかに前に進められているか・形にできているかが重要であると気づけたのではないかと思います。

最後になりましたが、当日ご参加いただきました会員の皆様、誠にありがとうございました。

